

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会 (メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目次 ◆
○ 活動報告
○ お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中！
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

3月29日 箕面市立第二中学校の皆さんからの募金を届けました！



西日本豪雨の被害を受けた岡山県倉敷市の真備町では、今も被災した写真の洗浄を行っています。

昨年12月箕面市立第二中学校の生徒会メンバーに岡山市立山中中学校2年生の小藪優太さんが加わり、写真洗浄のボランティアを行いました。その後、第二中学校では、支援の募金活動が行われました。

「3.11を忘れない」箕面ユネスコ講演会で2中生徒会からお預かりした募金を真備町地区で写真の洗浄を続ける

ボランティアグループ「あらいぐま岡山」代表の福井圭一さんに無事に届けることができました。いっしょに参加した優太さんが2中生の思いを一緒に届けてくれました。



学校休業のため、わたしたちが協働してきた総合学習も下に紹介する形でのまとめになりました。

●箕面市立豊川北小学校 5年生 ● ～ 豊北 つながりプロジェクト～

1 学期、ネパールの方や現地の生活を体験した高校生から話を聞いたみなさん。2 学期は、ネパール料理を作ったり、ネパールの文化や自然を調べたりする活動を行いました。

3 学期は、全校に呼びかけて書き損じはがき（日本ユネスコ協会連盟が進める世界寺子屋運動）を集める活動からスタートし、自分たちがネパールに親しみを感じているように、ネパールの人たちにも日本に興味を持ってもらいたいと、日



本の文化や身近な生活を伝える

掲示物、日本らしさを盛り込んだ絵本などの品々を作成しました。ネパール語を書き添えてあるなど、様々な工夫が凝らされており、子どもたちの思いがよく伝わってくる作品ばかりでした。今年度中に現地へ届けることができないため、一旦私たちでお預かりすることにしました。豊川北小学校のホームページに、校長室で先生方とやりとりした様子を載せ、各家庭にはそれらを見て頂けるようにメールで案内して下さいました。



●箕面市立萱野小学校 4年生 ●

自分たちにできることって何だろう？～出会いの中で見つけたハテナを解決しよう！～



坂口会長から、「人に喜んでもらうと自分の心が温くなる…」「やりたくないことも、むずかしいことも、やりぬくと気持ちがいい…」とのメッセージを受け取った子どもたち。その後、自分たちにできることを考えていきました。書き損じはがき集めでは、各家庭だけでなく、地域の施設や、学校がつながっている組織にも呼びかけるなど、子どもたち発のアイデアで行動していったそうです。「ハッピーハウス」で暮らす保護犬猫のための募金活動にも頑張りました。残念ながら、

ワンちゃんたちといっしょの街頭活動は covid19 のため実現できなかったのですが、それでも萱野小のハッピールームには活動の足跡がたくさん掲示されていて、子どもたちが生き生きと活動した様子が伝わってきました。豊北小同様、大阪府ユネスコ連絡協議会からの感謝状を、学童保育にきていた4年生にお渡しすることができました。

両校の子どもたち、先生方、授業に参画させていただき、本当にありがとうございました。
(大濱 淳子)



サラマット！！ (フィリピンの村で)

担任の先生に教えられた、日本語での「ありがとうございました」に続く、タガログ語の「ありがとう！」です。エンピツや消しゴムを大切に受け取った、現地の子どもたちの嬉しい顔と明るい声に、今年も出会うことができました。



何日か後に、すれ違う子どもたちが、「ありがとうございました」、「サラマット！」と駆け寄ってくれます。「イサプープンター！またいくよ」と応える私の「来年も」の約束です。

訪ねたウエストリーター村は、マニラから乗り合いバスで、6時間ほど北にある200軒ほどの集落です。多くの家族は、竹で造った家で生活をしています。そんな小さな集落にも、宗派ごとに、りっぱなキリスト教会が建てられています。村の小学校は、全校児童が200名ぐらいで、現地で求めた160人分ほどのノートや鉛筆を1～3年生に手渡



しました。

←昨年届けた用具でソフトボールに興じる子どもたちです。少しは役立っていることに嬉しくなりました。

ウエストリーター村では、畑で なすび・きゅうり・サンド豆を作ったり、鯉の池を作ったりで毎日を過ごしました。

少し余裕ができ、フィリピン軍のゴルフ練習場を、今年からのぞくことができました。練習場で、集落に住むアメリカ人の退役軍人と知り合い、あ



りったけの英語と片言タガログ語、ジェスチャーでコミュニケーションをとり、新しい出会いが生まれ、楽しめる日常が増えました。

→ さらに、現地社会の仕組みや、なりわいを少しでも経験しようと、牛に投資をしました。✓

子どもたち、村、産業など、フィリピンの状況をいずれ機会がある時に、お話ししたいと思います。

(中嶋 嘉伸)

● 熊本とつながる！緩やかなネットワーク

～ NPO 法人たんぽぽハウス、施設長上村さん、ご苦労様の挨拶へ行ってきました ～

2016年4月14日熊本は震度7の激震に襲われました。熊本地震から4年、支援活動の拠点となったたんぽぽハウス施設長の上村加代子さんが退任されるので、ご苦労さまの「はらこめし」と花束を届けに、3月19日～21日熊本県益城町へ行きました。



たんぽぽハウスには、障がいのある方や生活困窮、生活保護の方、アルコール依存症の方などが通い、加工品などを製造販売や子ども食堂などの運営をしています。今は、隣接する山を借りて子どもたちが遊べる森づくりをしている活動で「引きこもりの子どもたちが気兼ねなく外に一步踏み出せる場」づくりをしています。

箕面ユネスコ協会は、この4年培ってきたたんぽぽハウスとのゆるやかなネットワークはこれからも大切にしていきたいと思っています。

(上村さんが施設長を退任され、職員の廣瀬るみ子さんが新しい施設長です。上村さんはこれからも引き続きたんぽぽで活躍されます。)



お知らせ

- 2020年度箕面ユネスコ協会総会の開催について、新型コロナウイルスへの対応のため、別紙のとおりご案内します。ご理解をよろしくお願いいたします。
- 箕面ユネスコ協会のゆるやかなネットワーク「ルシェール」の第3回スタディツアー（2020年3月20日～29日）を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のため中止となりました。
- 今後の活動については、ホームページ上でご案内していきます。よろしくお願いいたします。